

事業所名		子どもの発達教室 たっち				支援プログラム		作成日		2025 年		1 月		11 日	
法人（事業所）理念		子どもの発達を総合的に捉え、身体的・精神的・社会的に健康な状態を持続するために、子どもたちが持つ能力を活かして、社会の中で安心して生活できるような支援を行います。													
支援方針		【子どもへの支援】アセスメントに基づき、子どもの能力や状況に合わせたプログラムを作成し、成長を丁寧に観察しながら、子どもに効果的な療育を行います 【保護者への支援】療育を通じて子どもの特性や状況を共有し、成長とともに喜び、保護者が安心して子育てできるような支援を行います 【地域とのつながり】子どもが所属している機関と直接つながり、連携して定期的な情報交換を行うことで、子どもの良い環境づくりをしていきます													
営業時間			9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無		あり		<div>なし</div>				
		体温													
本人支援	健康・生活	○来所時に体温計測や口頭による健康チェックを行い、健康状態を確認することで、自らの健康を意識出来るようにしていきます ○家庭や所属機関の様子を確認することで、心の健康状態を把握します ○自立に向けた公共交通機関の利用をすすめます（高学年向け）													
	運動・感覚	【未就学児】運動サーキットなどにより、からだの初期感覚の成長を促し、製作等の微細運動により手指の巧緻性を高めます 【低学年向け】ダンスや大縄跳びを継続することで成長する実体験や他児との協働作業により「やったらできた」の体験を重ねていきます 【高学年向け】ストレッチや体感トレーニングにより自分自身のからだを意識して動かせるようにしていきます													
	認知・行動	【未就学児】一人ひとりの発達や興味に合わせた課題設定により、表象機能を育て、語彙力を高め、ことばの世界を広げます 【低学年向け】肯定的な学習習慣を身に付け、自分で考え自己決定する力を養います 【高学年向け】ロールプレイ等で集団や社会場面でのスキルを身に付け、適応行動を形成します													
	言語 コミュニケーション	【未就学児】集団の活動を通して対人関係やコミュニケーションを広げ、受容・共感する体験を積み重ねます 【低学年向け】子ども同士の交流を増やし、自分の体験や情報を伝えることで、自発性や自我意識を促します 【高学年向け】SSTに特化したプログラムにより、気持ちのコントロールやコミュニケーションの仕方を身に付けます													
	人間関係 社会性	【未就学児】一人ひとりの発達や興味に合わせた課題設定により、表象機能を育て、語彙力や対人関係の基礎を培います 【低学年向け】子どもの興味を尊重しつつ、他者との交流の楽しさを味わうことで我慢や協調性につながるようにします 【高学年向け】社会での適応行動を学び、問題解決のスキルを身に付けることで、自立性を育みます													
家族支援		療育を見学し体験して、子どもの状態を俯瞰して捉えられるようにします 療育毎のフィードバックにより、成長を共に体験していきます					移行支援		子どものライフステージを見据えた療育を整え、地域の環境を踏まえた支援を行います						
地域支援・地域連携		子どもの所属機関との連携のために、保育園・幼稚園・学校を訪問し、さらに個別支援計画を立案するタイミングで所属機関と情報交換を行います					職員の質の向上		日々の療育毎の振り返りを職員で共有し、子ども毎の療育を学びます 専門職員により研修、新人研修、外部研修を適宜受講して、職員の質を高めます						
主な行事等		避難訓練等 ・ 月毎の製作（季節に合わせた作品 「ママの顔を描こう」「自画像」「クリスマス製作」「絵馬製作」等）													